

インフルエンザHAワクチン(皮下接種)の接種を受ける方へ

汐見台クリニック

任意接種用

インフルエンザは、毎年流行する感染症で、発熱、せき、のどの痛み、全身のだるさなどの症状を起こします。ワクチンを接種することで、発症の予防や、重症化の防止に一定の効果が期待されます。接種を受ける前に、ワクチンの効果や副反応、注意事項などについて、よくお読みください。ご不明な点がある場合は、接種前に医師にご相談ください。

1. インフルエンザHAワクチンとは

- インフルエンザウイルスの表面にあるHA(ヘマグルチニン)という成分を含む不活化ワクチンです。
- 現在流行が予測されるインフルエンザウイルスの型に合わせて、毎年ワクチンの成分が見直されます。
- 皮下に注射して接種します。
- 対象年齢は、生後6か月以上です。
- 接種後、約2～4週間でインフルエンザに対する免疫が付き、発症の予防や、発症した場合の重症化を防ぐ効果が期待されます。

接種の方法

上腕の皮下に注射します。



※ 接種部位は医師が判断します。
(通常は上腕の外側)

2. ワクチンの効果と副反応

効果

- インフルエンザの発症を予防する効果が期待されます。
- たとえ発症しても、重症化を防ぐ効果が期待されます。

主な副反応

- 接種部位の赤み、はれ、痛み、しこりなど(多くは軽度で、数日以内に自然に治ります)。
 - 発熱、頭痛、筋肉痛、全身のだるさなどがみられることがあります。
 - まれにみられる重い副反応: アナフィラキシー、けいれん、血小板減少性紫斑病、ギラン・バレー症候群 など。
- ※ 接種後に異常な症状がみられた場合は、すぐに医療機関にご連絡ください。

3. 予防接種を受けることができない方(接種不適当者)

- 明らかな発熱(通常37.5℃以上)がある方
- 重篤な急性疾患にかかっている方
- 本ワクチンの成分(鶏卵、ゼラチン、抗生物質など)により、アナフィラキシーを起こしたことがある方
- 明らかな免疫機能の異常がある方、または免疫抑制状態にある方(免疫抑制剤の使用、先天性免疫不全、HIV感染症 など)
- その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した方

4. 接種にあたり、医師と相談していただく方(接種要注意者)

- ゼラチン、鶏卵、その他のワクチン成分に対して、アレルギーのある方
- ぜんそく、慢性の呼吸器疾患(気管支喘息など)がある方、または過去に喘鳴の既往がある方
- 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気、神経の病気、けいれんの既往がある方
- 免疫機能の異常のある方や、その家族に先天性免疫不全症の方がいる方
- 近親者に1年以内に重いアレルギー(アナフィラキシーなど)を起こした方がいる方
- 現在、他のワクチンを接種する予定がある方
- その他、治療中の病気がある方、または現在お薬を使用している方

5. 接種後の注意事項

- 接種後、30分程度は院内で様子をみてください。
- 接種当日は、激しい運動を避け、体調の変化に注意してください。
- 接種後に、赤み、はれ、痛み、発熱、のどの痛み、全身のだるさなどの症状がみられることがありますが、多くは軽く、数日で自然に治ります。
- まれに重い副反応が起こることがあります。呼吸が苦しい、強い発疹、意識がおかしい、けいれんなどの症状がみられた場合は、すぐに医療機関にご連絡ください。
- 他の人への感染の可能性は極めて低いとされていますが、接種後しばらくは、重い免疫不全の方との密接な接触は避けてください。

6. 健康被害救済について

予防接種により、まれに健康被害(病気になったり、障害が残ったりすること)が生じることがあります。この場合、予防接種法に基づく救済制度(医療費・障害年金など)が受けられます。申請方法など、詳しくは医師にお問い合わせください。

安全に接種するため、現在の体調・持病・服用中のお薬について正確にお知らせください。